

お寺 de シネマ ーいのちの三夜ー

「いのち」ってなんだろう?人間のいのち、生き物のいのち、食べもののいのち・・・。 映画とともに「いのち」を感じる一夜をすごしませんか?

上映日

上映作品

10月26日(火)

「闇の子供たち」

10月27日(水)

「いのちの食べかた」

10月28日(木)

「ブタがいた教室」

上映会場

そうがいしょ 総会所 (東本願寺東側)

〒600-8174 京都市下京区烏丸花屋町下る

上映時間

19:00~(開場18:30)

木戸銭

自由 (お帰りの際に金額をご自由にお決めください。)

鑑賞申込

特に申込みの必要はありませんので、当日会場に直接お越しください。 (定員:100名程)

*その他必要事項は裏面をごらんください。

京都教区御遠忌テーマ

今、いのちがあなたを生きている ー聞こえますか いのちの声 感じますか いのちのぬくもりー

主催: 真宗大谷派京都教区 宗祖親鸞聖人 750 回御遠忌推進委員会

-作品紹介-

闇の子供たち

実際にタイのアンダーグラウンドで行われている幼児売春、人身売買の現実『闇の子供たち』を映画化。これは、決して遠い国のできごとではない。お金で買えないはずの子供の命が現実に売買されている。人身売買と幼児売春、違法な臓器移植…。そして加害者の中には、日本人も多いという事実。その事実を伝えようとした作品。 2008 年/日本映画/2 時間 18 分

監督・脚本:阪本順治/出演:江口洋介 宮崎あおい 妻夫木聡他/原作:梁石日(『闇の子供たち』幻冬舎文庫)

いのちの食べかた

私たち日本人が1年間に食べるお肉(牛・豚・鳥)は約300万トン。だれもが毎日のように食べている膨大な量のお肉。でもそもそもお肉になる家畜は、どこで生まれ、どのように育てられ、どうやってパックに詰められてお店に並ぶのだろう?本作は、そんな私たちの生とは切り離せない「食物」を産み出している現場の数々を描いたドキュメンタリー。2005年/オーストリア・ドイツ映画/1時間32分原題:OUR DAILY BREAD/監督:ニコラス・ゲイハルター

ブタがいた教室

新任教師と 26 人の小学生が挑んだ「ブタを育て食べる」授業。1990 年、大阪の小学校で新任教師がはじめた実践教育が日本中に波紋を投じた。それは、"ブタを飼って、育てた後、自分たちで食べる"という驚くべき授業だった。卒業までの 1 年間、真剣に"いのち"と向き合った感動の実話。2008 年/日本映画 / 1 時間 49 分/監督:前田哲/出演:妻夫木聡 26 人の子どもたち他/

原案:「ブタのPちゃんと32人の小学生」黒田恭史 (ミネルバァ書房刊)

上映会場



お問い合わせ先

真宗大谷派 京都教務所

(担当:王来王家、草野)

住所:〒600-8164

京都市下京区花屋町通烏丸西入 Tel: 075 (351) 5260 fax: 075 (351) 5256 mail: kyoto@tomo-net.or.jp